

FAL C90EXW 駆動アンプの 選択(8)

—総合評価—

1. はじめに

[前報\(7\)](#)までの結果のまとめを行います。

2. 各駆動アンプの評価

使用したアンプは、ステレオ誌付録のデジタルアンプ以外は、すべて真空管アンプで、ヴィンテージと言えれば聞こえは良いのですが、中古やキットや、ずっと以前に組み立ててもらったオリジナルのアンプで、見るからに汚らしくてみすぼらしいものばかりです。

しかしながら、昨年から、**Enigma Sopranino** の追加、電源のパワーリベラメンテ、タップリベラメンテ、フィルタライザーおよび **iPurifierDC** の導入、さらには **RCA** ショートピンの採用などで、**FAL C90EXW** の印象も随分と変わってきており、アンプを選ばない傾向が見えてきました。しかしながら、前報(7)までの印象を整理してみますと以下のようなことになるかと思えます。

2-1) RCA 45pp アンプによる駆動

使用している 45 は **RCA** のナス型の古い球ですが、プッシュプルにしていますので駆動力もあって決して古臭い音はせず、3 極管特有の直線性の良い素直な音がします。300B シングルアンプに比べて、音質が劣化したという感じはしませんが、少し音場の奥行き感が後退して平面的になり、弦の艶も若干薄くなった感じがします。

2-2) PX25 シングルアンプ

旧型の 3 極管という点では、300B と共通で、音も良く似ています。敢えて相違点を上げると、300B シングルアンプが明るめで切れ味が良く、レンジも広い感じがするのに対し、PX25 シングルアンプは若干ナロウレンジで、陰影に富み、渋みのある独特の味わいがあり、これはこれで魅力的な音がします。PX25 シングルアンプは非力さを心配していましたが、意外に駆動力もあります。

2-3) IPC AM1029 アンプ

AM1029 アンプはゲインは低いのですが、**FAL C90EXW** の駆動には十分です。控えめで 300B シングルアンプや PX25 シングルアンプのように張り出してくるところはなく、やや立体感が後退しますが、ニュートラルでまとまった音がします。

2-4) Rogers Cadet III

Cadet III アンプのパワー管は **ECL86** で 10W 出力ですから、今回使用するアンプの中では大きい方です。初めて聴く組み合わせですが、切れ味も良く、深みもあって

300B や PX25 などの大型真空管に引けをとらないパフォーマンスを示してくれ
ます。さらに陰影感についても PX25 のような味わいを示してくれました。

2-5) Langivin 6V6pp アンプ

Langivin の 6V6pp アンプは IPC AM1029 によく似た音で、ともに Western の流れ
を汲む小型アンプということが分かります。IPC AM1029 同様にまとまりがよく、
すっきりとした音で、多くを望まなければこれで十分鑑賞に堪えるというレベルです。

2-6) 三栄無線 EL84 シングルアンプ

安価なキット製品だからという先入観を完全に覆すまではいかないものの、予想以上
の小癪な鳴り方をしてくれます。駆動力には不満はないものの、如何せん低音の力感
は他のアンプに聴きおとりしますし、それ故音に深みが不足します。

2-7) デジタルアンプ LXA-OT1

このデジタルアンプはゲインが低く、低域も力がないので小音量でひっそりと聴く
だけの用途にしか向いていないと思います。しかし、高域はすっきりと伸びて爽やか
な音がします。

3. 総合評価

三栄無線 EL84 シングルアンプとデジタルアンプ LXA-OT1 は、よくこのくらいま
で・・・という印象はありますが、他のアンプと比べると旗色が悪いのは否めません。
その他のアンプは大雑把に言うと、音に陰影を感じるヨーロッパトーンの PX25 と
Rogers Cadet III のグループに対し、明るめの音のする、300B シングル、Langivin
6V6pp アンプおよび IPC AM1029 アンプのグループという構図になり、IPC
AM1029 は KT66 に差し替えてもヨーロッパトーンにはなっていません。RCA 45pp
アンプがアメリカ球ながら、古典球で少し PX25 のような味わいも感じられます。
総合的にクラシック向けという点では、300B シングルを中心に PX25 と Rogers
Cadet III を切り替えて使っていこうかと考えています。

以上